

TERENCE LEE

テレンス・リー
リスク管理コーディネーター



SHUICHI ARAKI

荒木秀一

「バウンティハンター」原作者

KEN KITASHIBA

北芝健

「内閣権力犯罪強制」原作者
取締官財前丈太郎

維持世界一の誇り
現金で葬れ!!

ケン ナマ

財務省を盛り場に持つていく! 官僚が怖い思いをすれば警察予算が増える——北芝

本誌大好評連載中の「バウンティハンター」が、コミックス化されることとなつた。

米国犯罪逃亡者追跡人（F.R.P.連邦捜査官）の資格を持つ唯一の日本人、荒木秀一氏を原作に迎えて、近未来の日本に賞金稼ぎ制度が導入されると仮定。様々な事件が現代日本の治安維持の問題点を浮き彫りにしている。いくこの作品は、一般読者のみならず、リスク管理に携わる諸関係者の間でも大きな反響を巻き起こしている。

そこで、荒木秀一氏、元警視庁刑事の北芝健氏、そして元傭兵でリスク管理コーディネーターのテレンス・リー氏をお迎えし、「バウンティハンター」から垣間見える日本の問題を改めて問い合わせることにした。ここから、我々が選択すべき道が見えてくるはずだ。

持はどうなるのでしょうか。現状での治安維持体制から伺います。

北芝（以下北）警察関連に関しては私がお話ししましよう。事件発生後の捜査を迅速にかつ効果的に行う為には、警察の予算、人員が極めて不足していません。犯罪のハイテク化、住民の相互監視が希薄になつた為の情報不足、外国人の大量流入など、日本の社会が旧来の体制から急速に変わってきて、犯罪捜査に一層手間がかかる様になつてているのに、警察の予算、人員は削られるばかり。例えば、読者の方の家の近所にも「警官のいない交番」があるのではないか。予算がないから交番に人員を割けない……。現実的に考えれば、この体制で犯人逮捕が迅速に行えること自体が不思議。警察を責める前に、国家の予算体制から見直していく必要があります。

リリー（以下リ）予算 자체は警察が決める事じゃなくて、財務省に決定権限がありますからね。だから、冗談ではなく財務省の高級官僚達を、常に犯罪と背中合わせの場所に置いておくといいかも知れないですよ。

なら、過去の日本人の英知を見直すべきです。例えば、女性が夜、一人で安全に歩ける道を最初に造つたのは日本なんですよ。織田信長が京都から安土までの道に定間隔に役人の詰所、今で言う交番と松明の灯り、これは街灯ですね、を置いた。国が繁栄する為には治安が第一、と信長は考えていました。それを秀吉、家康が受け継いで来て今がある。こんなに治安について意識が高くて、歴史的にも確固たる実績を残してきているんだから、北芝さんが触れる

おとく、他の窓も壊していいだろうという輩が現れ、次第にビルが崩壊していくというロジック。ニューヨークではジユリアーノ市長がその「破壊理論」に基づいて、落書きや吸殻のボイ捨てなど小さなアンモラルな事も見逃さず、取り締まつていつたら治安が良くなつてきました。

リ 要は、いかにこの国のことを思

るまでに非常に時間を要するという状況は、読者の方々の心の中に暗い影を落としています。今後の治安維

持はどうなるのでしょうか。現状での治安維持体制から伺います。

北芝（以下北）警察関連に関しては私がお話ししましよう。事件発生後の捜査を迅速にかつ効果的に行う為には、警察の予算、人員が極めて不足していません。犯罪のハイテク化、住民の相互監視が希薄になつた為の情報不足、外国人の大量流入など、日本の社会が旧来の体制から急速に変わってきて、犯罪捜査に一層手間がかかる様になつてているのに、警察の予算、人員は削られるばかり。例えば、読者の方の家の近所にも「警官のいない交番」があるのではないか。予算がないから交番に人員を割けない……。現実的に考えれば、この体制で犯人逮捕が迅速に行えること自体が不思議。警察を責める前に、国家の予算体制から見直していく必要があります。

リリー（以下リ）予算 자체は警察が決める事じゃなくて、財務省に決定権限がありますからね。だから、冗談ではなく財務省の高級官僚達を、常に犯罪と背中合わせの場所に置いておくといいかも知れないですよ。

なら、過去の日本人の英知を見直すべきです。例えば、女性が夜、一人で安全に歩ける道を最初に造つたのは日本なんですよ。織田信長が京都から安土までの道に定間隔に役人の詰所、今で言う交番と松明の灯り、これは街灯ですね、を置いた。国が繁栄する為には治安が第一、と信長は考えていました。それを秀吉、家康が受け継いで来て今がある。こんなに治安について意識が高くて、歴史的にも確固たる実績を残してきているんだから、北芝さんが触れる

おとく、他の窓も壊していいだろうという輩が現れ、次第にビルが崩壊していくというロジック。ニューヨークではジユリアーノ市長がその「破壊理論」に基づいて、落書きや吸殻のボイ捨てなど小さなアンモラルな事も見逃さず、取り締まつていつたら治安が良くなつてきました。

リ 要は、いかにこの国のことを思

るまでに非常に時間を要するという状況は、読者の方々の心の中に暗い影を落としています。今後の治安維

日本は世界に冠たる治安国家だつた! その誇りを取り戻せ!!——リー

本誌読者待望の特典記事満載コミックス!
中裕人先生渾身のスタイルショナ
描き下ろしカバーが目印!!

取り戻せ!! 治安
D.I.Y. 冷血犯は
OB



取材・文/編集部
撮影・写真/梅村博文

BUNCH（以下B）世田谷一家

四人殺害事件や奈良女児殺害事件など、再度ここで取り上げるまでもなく世の中を震撼させる獣奇事件が相次いで発生しています。しかも犯人が逮捕されない、あるいは逮捕されまるまでに非常に時間を要するという状況は、読者の方々の心の中に暗い影を落としています。今後の治安維

荒木（以下荒）それで予算が下り

れば、犯罪捜査が迅速に行えるだけではなく、犯罪を未然に防ぐ警備体制も整つてくる。官僚は自分が一番か

わいいから実現性はあるかも。なか

取り戻せ!! 治安維持世界一の誇り

冷血犯は現金で葬れ!!

本誌
大人気連載!!
「ハウントイハンター」
コミックス①・②巻
★ 同時発売
記念企画

北 予算、という観点から考えると、我々には今、非常にいい教科書がある。それが「ハウントイハンター」です。米国のように治安維持の為に賞金稼ぎ制度を導入する。リーさんがそうですね。民間人の力を活用して治安維持を図る。賞金制度なら成功報酬だから、たいした予算もかからないで済む。

荒 交番の掲示板を見ると、オウムの指名手配犯3人が、延々と掲示されている。いつまで経っても、その足取りさえつかめない。でも、それは3人にかけられた賞金が低いからではないかと思うわけです。たった200万円。それが1000万円とかだったら、市民の意識も変わってくるでしょう。

北 その賞金額だったら、私も彼らを追いかけ出します(笑)。まあ、金の問題ではなくて、「高額の賞金」!! 「我らの世界を乱す者」と皆、思うようになる。だが、現状では、オウムの指名手配犯は「我々には関係ない人」ですから。

荒 犯罪抑止では、過去の特定の犯罪データベースを市民に開放することも効果的です。よく「更正した人の人権侵害になる」となどと言われますが、幼児性犯罪なんか再犯が多いですね。監視下に置けば、奈良女兒殺害

指名手配犯に高額の賞金を! オウムの指名手配犯もとつぐに捕まっている



TERENCE LEE テレンス・リー

幼少時より武術の訓練を開始。古今東西の兵法・軍学を研究してきた。大学に進学後、渡欧し傭兵の世界に身を投じる。中米、南米、アフリカ諸国で様々な軍事オペレーションに参加。当時のコードネームがテレンス=リーである。現在は危機管理コーディネーター。

SHUICHI ARAKI 荒木 秀一
17歳で探偵事務所を設立。その後、インドネシアで警察の潜入捜査官(アンダーカバーコップ)を経験。米国ではFBIよりも権限が強いと言われる犯罪逃亡者追跡人(ハウントイハンター)の正規資格、FRP連邦捜査官の資格を得る。

KEN KITASHIBA 北芝 健
元警視庁刑事。刑事警察や公安警察に在籍し、殺人、強盗、傷害、詐欺、強姦、麻薬などあらゆる事件を扱う。ロス市警、FBIとも交流があり、その人脈は幅広く、あらゆるカテゴリーに情報網がある。本誌連載中く、「内閣権力犯罪強制取締官」財前丈太郎」原作者。



SHUICHI ARAKI 荒木 秀一
17歳で探偵事務所を設立。その後、インドネシアで警察の潜入捜査官(アンダーカバーコップ)を経験。米国ではFBIよりも権限が強いと言われる犯罪逃亡者追跡人(ハウントイハンター)の正規資格、FRP連邦捜査官の資格を得る。



MEAN
MUGGIN'
NOW!

対談に参加していただいたテレンス・リー氏が出演する「サンデー・ジャポン」(TBS系列、毎週日曜朝10時より放送中)の提供で、現在、人気爆発中で品薄の状態が続く「テレンス・リーカレンダー」を抽選で読者の方5名に特別プレゼント致します。ご希望の方は、官製ハガキに住所、氏名、電話番号、年齢、ご職業、本企画に対するご感想を記入の上、〒180-8799武蔵野郵便局私書箱11号「週刊コミックパンチ・ハウントイハンタープレゼント」係までお送り下さい。〆切は2月末日(必着)。尚、当選者の発表は発送に換えさせていただきます。



「悪党は逃がさない!!」
開談記事の内容が
必ずとどろ無く描かれる
本編は次ページより!!